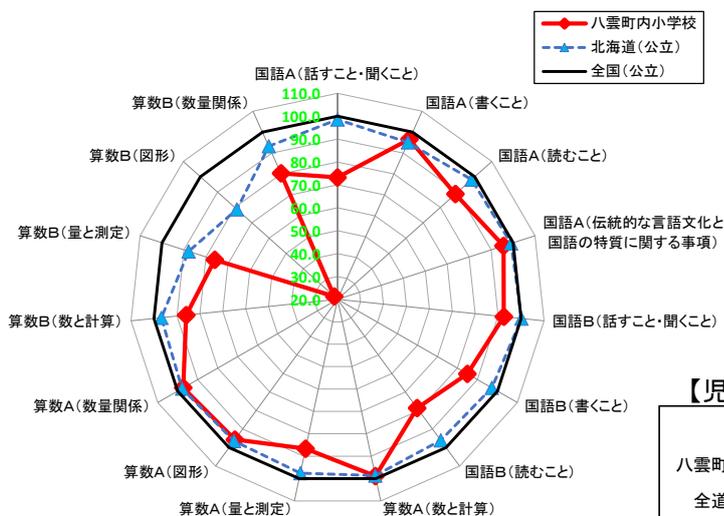


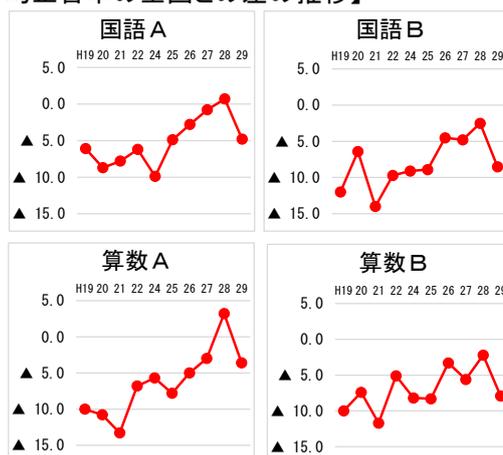
■八雲町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、児童数:136人)

【教科全体の状況】

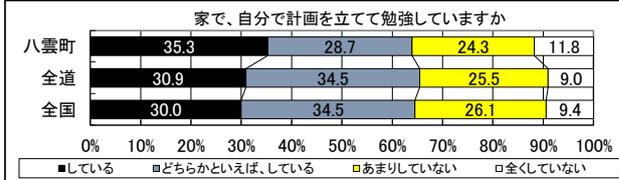
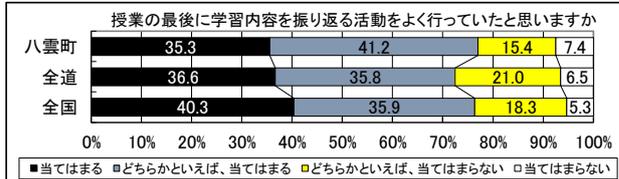
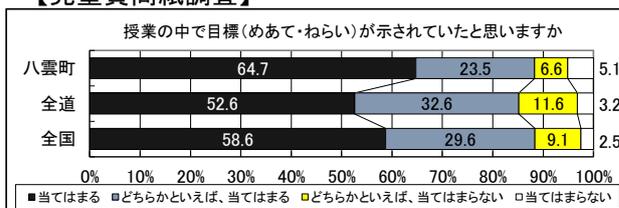
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



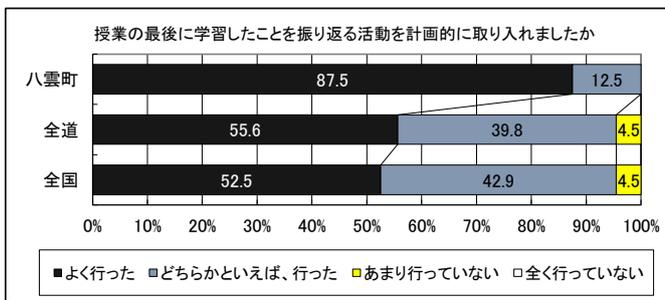
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

調査項目	分析結果
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全道を上回り、「数量関係」で全道とほぼ同様になっている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を行い、児童に見通しをもたせる授業改善を進めた結果、主体的な学習態度や学習意欲の向上に結び付いたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた結果、学習内容の確実な定着に結び付いたと考えられる。 ○ 小中連携した家庭学習習慣定着の取組を徹底した結果、家で、計画的に学習する態度の育成に結び付いたと考えられる。

【八雲町の学力向上策】

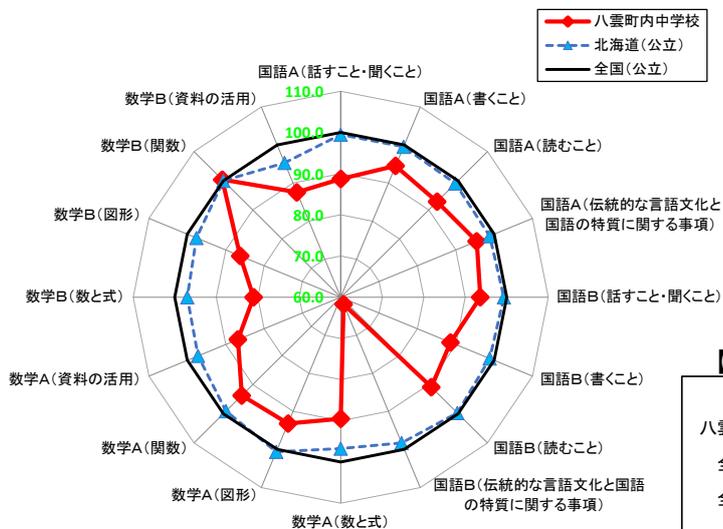
- ◎ 八雲町確かな学び推進会議による各校の課題に応じた学力向上策の提示と各学校における共通理解の徹底
- ◎ 八雲町教育課程編成会議による小中9年間を見通した課題解決の方策の教育課程への位置付け

■八雲町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:121人)

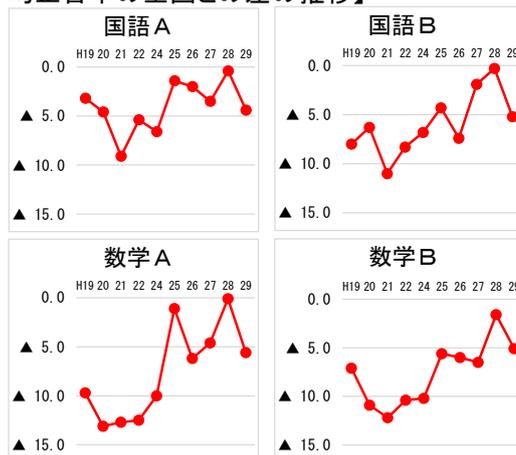
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

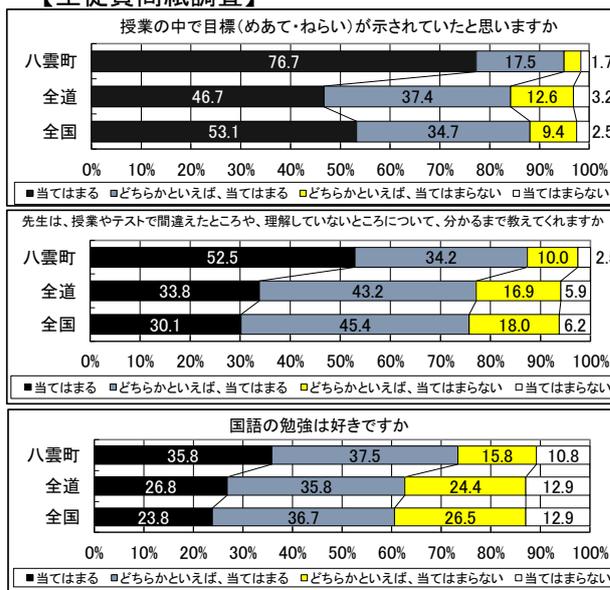
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



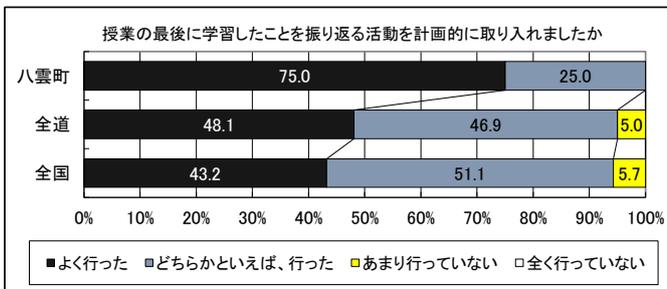
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Bでは、「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を行い、生徒に見通しをもたせる授業改善を進めた結果、主体的な学習態度や学習意欲の向上に結び付いたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた結果、学習内容の確実な定着に結び付いたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じた指導や補足的な学習サポートにおいて、授業やテストで間違えたところや、理解していないところを丁寧に指導した結果、基礎的・基本的な学習内容の定着に結び付いたと考えられる。

【八雲町の学力向上策】

- ◎ 八雲町確かな学び推進会議による各校の課題に応じた学力向上策の提示と各学校における共通理解の徹底
- ◎ 八雲町教育課程編成会議による小中9年間を見通した課題解決の方策の教育課程への位置付け